

## 主要科目の特長・科目ごとの目標等

### ○短期大学

#### ・保育科

##### 「基礎講座」

「基礎講座」は本学独自の基礎科目であり、社会人としての常識や大学生としての学びを深める方法を学ぶことを目的として設定されている。具体的にはレポートの書き方、実習などで必要となる漢字や日本語表現、保育者の心得などについて学修していく。また、農園活動や自然体験を通して個々の感性を磨き、自然に対する理解を深め、共同活動を通じてコミュニケーション能力を育むことをねらいとしている。

##### 「教育原理」

幼稚園教諭免許・保育士資格取得のための必修科目である。

教育という文化的事象は、子どもと教師（教育課程）の二者関係のみに留まらず、その背景にある時代や社会の要請にも応えなければならない。しかし、教育は、ただ単にそれらに即応すべきものではなく、それらを批判し改善していくような固有の理論をもつ必要がある。

そのため、本授業では、教育の本質や目的、機能等の基礎的理論に加え、教育法規や教育行政の仕組みについても学び、いじめや不登校、学級崩壊（小1プロブレム）などの教育問題に触れながら、今日の教育の在り方について理解を深めることをねらいとする。

##### 「保育の心理学」

幼稚園教諭免許・保育士資格取得のための必修科目である。

こどもの発達に関する心理学的基礎理論を学び、保育実践や発達援助につながる方法を理解する。また、こどもの学びのプロセスや遊びの意義を知り、こどもの主体的活動を支える経験や環境の重要性についても理解を深めていく。

##### 「子ども家庭福祉」

保育士資格取得のための必修科目である。諸外国や日本の子ども家庭福祉の歴史的変遷を学び、今日の法制度や実施機関・施設等の成り立ちを理解する。現代社会における子どもや家庭の現状や問題を、さまざまな角度からとらえ考える。子どもの人権や発達権、生活権などの権利を学ぶとともに、具体的に保障していくための方策について学んでいく。少子化が進む中で、子どもの育ちや子育て家庭を社会全体で支える法制度や子育て支援施策について理解を深めていく。

## 「教育実習」

教育実習は、幼稚園教諭免許取得のための必修科目である。

1年次の学校体験活動を通し、一日の保育の流れや保育者の仕事、幼児の特性など、幼稚園教育の基礎的理解を深める。事前・事後指導では、実習の意義や目的、保育者の心構え、実習日誌の記録方法について学ぶ。

2年次は、これまでに学んだ理論、知識、技術を最大限に生かした実習に臨む。3週間の実習を通し、責任実習などを経験しながら、幼稚園教諭の仕事と役割、幼稚園の営み役割を実践的に理解し、幼児理解を深めていく。また保育者としての自己理解を深め、自信の保育観や保育技術の吟味、検討を行う保育の省察力を身につける。

## 「音楽基礎Ⅰ・Ⅱ」

本講座では、ピアノ弾き歌いの学習を中心としながら、基礎的な音楽の知識・技能を総合的に学んでいく。ピアノに関しては、歌のイメージを容易かつ適切に表現する方法として、コードネームを用いたアレンジを学ぶ。この方法の習得で、入学時までのピアノの学習経験にかかわらず、子どもたちと想いを共有しながら歌や音楽を味わう保育ができるようになる。何よりも、受講者ひとりひとりが、音楽を楽しみながら演奏する力を身につけることができる。

## 「保育内容『造形表現』」

本講座では、つくる楽しさを自ら体験しながら、子どもの遊びの本質や表現の意義を学ぶ。まず、子どもの発達段階に応じた造形活動や、道具や材料の基礎について学修する。そして、グループワークで、子どもが楽しく安全に遊べるダンボールの大型遊具を制作する。これらを通して、子どもの造形活動を援助する力と自ら表現する力を身に付けていく。

## 「保育実習指導Ⅰ・保育実習Ⅰ」（保育所）

保育士資格取得のためには、保育所での実習を行わなくてはならない。「保育実習指導Ⅰ」（保育所）では、保育所の役割・機能についての具体的な理解をし、観察や子どもとのかかわりから子どもへの理解を深める。また、実習日誌における観察や記録の方法を学び、実習に向けての基礎力を付ける。実習先オリエンテーションの電話のかけ方など、実習に関連したマナーについても学ぶ。また、模擬授業を通して教材準備を行う。

「保育実習Ⅰ」（保育所）では、保育所の施設、環境や保育内容を理解し、目的をもって実習に臨み、実習を通して観察力を磨き、記録の重要性について学ぶ。実習後は事後指導を受けることによって実習の振り返りをきちんと行い、次の実習に向けて自分の課題を明確にしていく。

## 「保育実習指導Ⅰ・保育実習Ⅰ」（施設）

保育士資格に取得のためには、児童福祉施設等における実習を実施しなければならない。施設実習で配属される施設は多岐に渡るため、事前指導では、各施設の役割・機能、関係機関等について学ぶ。また、実習を通して、事前指導で学んだ内容がどのように展開されているかを知り、利用児・者やその家族にかかわることや支援の実際を学ぶ。この他にも、児童福祉施設等における保育士の専門性、専門職としての施設保育士の職業倫理や具体的業務内容、施設における子どもの人権や最善の利益がどのように守られているか等について理解を深めていく。